

Title	福澤諭吉書翰：後藤象二郎宛,全集未収録
Sub Title	
Author	河北, 展生(Kawakita, Nobuo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1950
Jtitle	史学 Vol.24, No.2/3 (1950. 10) ,p.65(197)- 65(197)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録 福澤諭吉五十年忌記念
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19501000-0065

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

言もの二人在りと云其一人は則囉尼なるよし（歐行記二、一八四—一八五頁、〔遺外使節日記纂輯三〕）

四、野村教授「福澤先生とレオン・ド・ロニイ」十、十一頁

五、拙稿「福澤先生と巴里」史學十三卷三號六四・一・一八頁

六、福地氏の「懷往事談」に「歐洲文明の事物を案内に應じて盡く見聞したれども大抵は無心にて見過し心に留めたるは三十餘人中にて僅々數人に外ならざりければ其歸國の曉に及びても歐洲巡廻の功績は直接にも間接にも顯はるゝ所なかりき。」（七七頁）とある。

七、石川舜台、小野彌一の兩人である。

八、拙稿「佛人の見たる福澤先生」史學十三卷四號二四・五〇頁

九、*Ethnographie des peuples étrangers à la Chine, tr. de Ma-Fouan-Lin (1871)*

（本篇の起草に當つては本塾講師河北展生氏の助力を得た。記して好意を謝する。）

福澤諭吉書翰

——後藤象二郎宛、全集未収録——

「伯爵後藤象二郎」（大町桂月著七七頁）に、續福澤全集未収録の後藤宛の福澤書翰の寫眞が掲載されて居る。書翰は左の如くである。

安岡氏之來信御示し被下難有奉存候。則返上仕候、何れ不

日拜趨萬々御話可仕奉存候。右拜答のみ申上度勿々頓首

九月初一

諭吉

後藤先生

御侍史

同書の説明には明治二十八年の書翰とされて居る、封筒が同時に寫されて居るから、年代は多分封筒の消印に依つたものと思はれる。文中安岡とあるは、安岡雄吉の事であらう。安岡の書翰の内容は勿論知り得ないが、丁度後藤を中心に政友有志會を組織して居た際で、後藤と藏相を辭した松方と、改進黨の大隅との提携が行はれようとして居た際であるから、或は此の邊の事に關するものではなかつたらうか。（河北展生記）